

<資料5>

授業実践を通しての「1人1台端末を活用するときのポイントと効果」

学習 場面	活用のポイント	活用の効果	対象 実践
A 1 教員 教材 の提 示	導入で、実態把握のためのアンケートを フォームで行う。	課題の今の理解度を瞬時に測り、その状態を 容易に全体で共有することができる。	高1 家庭
	スライドで表現するものと、黒板に残す ものとを区別して示す。	授業内容はスライドで、学習目標や手順は黒 板で確認することで、授業が効率よく進み、見 通しをもつことができる。	中3 音楽
B 1 個 に 応 じ る 学 習	問題にカラー資料を添付したり、自動採 点機能を設定したり、質問機能を用いた りするなど、フォームを活用する。	問題への興味が高まり、取組への意欲が向上 し、知識の定着を図ることができる。	中2 社会 中3 音楽
	作品に対して、1人1台端末を活用して、 各自でコメントを挿入させる。	各自が同時にコメントを付け、グループ内で 共有し、自分のコメントについて考えを深め ることができる。	高2 国語
	1人1台端末に資料を掲示し、各自のペ ースで学習させる。	1人1人が自分の学びを調整しながら学習を 進めることができる。	中1 音楽
	繰り返し学習し、納得のいく動画を撮影 させる。	自己評価に基づき、技能を高めることがで きる。	中1 音楽
B 5 家 庭 学 習	授業で提示した資料を、教育用プラット フォームにアップロードする。	家庭で授業の振り返りや復習がしやすく、テス ト勉強をする際にも、繰り返し活用できる。	中3 音楽
	スライドにリンクを貼るか、リンクのみ を伝え情報を共有する。	動画等の資料を正確に伝え、題材への興味・関 心を高め、家庭学習への意欲を向上させるこ とができる。	中3 音楽
C 1 発 表 の 場	授業で活用する資料を共有できる状態 にする。(クラウドや共有フォルダ)	発表資料や話し合いのための資料を、各自が細 かい内容まで確認することができる。	高1 家庭
C 2 意 見 整 理	視覚的に意見や考えの違いを明確にする。	カテゴリでの意見の相違が一目で分かり、 意見整理をスムーズに行うことができる。	高1 家庭
	デジタルで書き込むフレーム(背景)を 工夫し、固定する。	付箋の位置付けにより、グループ内の一人一 人の意見の度合いを簡単に可視化することが できる。	中2 社会